

Information

法人・事業所の幹部及び役職者を目指す正職員、急募！

- 【仕 事】 障害福祉総合職
 支援業務、職員教育、授産事業の営業・生産管理、法人・事業所の運営に係る業務全般
 【勤 務】 配属の事業所による。基本は7時～18時の内、連続した8時間（休憩1時間を除く）
 【休 日】 配属の事業所による。基本は週休2日
 【給 与】 初任給 月給192,000円～ 勤務評価により昇給
 年収 リーダー360万円以上、チーフ400万円以上、マネージャー460万円以上
 法人幹部500万円以上
 【待 遇】 賞与（年3回）、社会保険、退職共済、労働保険、雇用保険、資格手当、役職手当

パート職員も併せて募集中！

- 【仕 事】 就労継続支援B型の生活支援員、職業指導員
 具体的な仕事は配属の事業所の授産内容によって異なる
 【勤 務】 配属の事業所による。基本は8時～17時 7時間以下
 【休 日】 配属の事業所による。基本は週休2日
 【給 料】 時給1,200円～1,400円 勤務評価による
 【待 遇】 寸志（年3回）、各種保険等の加入は契約の勤務時間による
 勤務成績等により正職員への登用のチャンスあり

意欲的な人、前向きな人、積極性のある人、実行力のある人、好奇心に溢れている人、社会経験豊富な人、そして、常識のある人を山脈は求めています！

令和7年度賛助会員受付中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口 2,000 円で何口でもかまいません。皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発 行 特定非営利活動法人 山 脈 理事長 笹澤 賢一

住 所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail : rep@npo-yamanami.jp

URL : <http://www.npo-yamanami.jp/>

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO 法人 山脈ニュース 2025.11
No.268

きょうされん第48回全国大会 in 奈良に参加しました！

10月17日（金）、18日（土）、奈良県に開催されたきょうされん第48回全国大会に参加してきました。高崎を早朝に出発し、上越新幹線、東海道新幹線、近鉄奈良線を乗り継ぎ、お昼近くに現地に到着しました。幸い天候にも恵まれ、会場となった奈良県コンベンションセンターには全国各地から多くの利用者、職員など2000人を超える参加者で溢れていました。

1日目は、特別シンポジウム「被爆・戦後80年 障害のある人と戦争を考える～人権と平和が花ひらく未来をひきよせるために～」に参加しました。講演では、昨年ノーベル平和賞を受賞した「日本原水爆被害者団体協議会」の事務局長の濱住治郎さんが登壇し、ご自身の被爆体験やノーベル平和賞の受賞を知った時のお気持ちなど貴重なお話を聞くことができました。被爆・戦後80年経った今もまだ、濱住さんにとって戦争は終わっていないと語られました。それは、世界にはいまだに12120発の核兵器があり、4000発の核弾頭がいつでも発射される状況にあり、被爆者の方々は核兵器が0にならなければ安心できないからです。

壇上では濱住さんの講演に続き、きょうされん専務理事の藤井克徳さんと濱住さんによるトークセッション、さらに、シンポジストに「ピースアクションをする会ならコープ名誉理事」の中野素子さん、きょうされんから広島支部の秋保喜美子さん、長崎支部の緒方晴さんのふたりの障害のある仲間を加え、平和についてそれぞれの意見を聞くことが出来ました。被爆・戦後80年、今、私達ができることは、まずはひとりひとりが平和について考えることだと改めて考えました。

2日目は、私は文化会「暮らし・居住」に参加しました。「人とつながり、社会とつながって生きていく障害の重い人の暮らし」がテーマです。実践報告では、もみじ福祉会さん（広島県）とあみの福祉会さん（京都府）が、障害が重くても人とつながりながら、地域社会の中で当たり前の生活を送りたいという仲間の願いを受け止め、様々な社会資源を使いながら一人ひとり違う暮らしを支える取り組みを報告しました。

もみじ福祉会さんの報告では、予期せず仲間の看取りをした経験から仲間の高齢化・重度化を控え、「わたしノート」というエンディングノートの作成をしているというエピソードが印象的でした。あみの福祉会の報告では日々の実践で迷ったら、「このことは法人理念の“仲間の生きる力をつくる”ことにつながっているか？」とみんなで話し合っているというエピソードが印象的であり、迷ったら理念に立ち返る大切さを再認識できました。

きょうされんの全国大会は、日々の業務に忙殺され、見失っていたことや新たな気づきを与えてくれます。



第3回やまなみ秋の大運動会、開催しました！

10月5日（日）、第3回やまなみ秋の大運動会が開催されました。この運動会は、感染症が猛威を振るうコロナ禍、それまで出来ていた法人のイベントなどが実施できず、事業所間で交流する機会が減り、事業所が違うと利用者、職員の名前もわからない人もいるということを受けて、コロナ禍が明けた令和5年の秋に初めて実施されました。

そして、利用者さんにも好評だったため、その後、山脈の新たな利用者交流イベントとして昨年、今年と開催するに至りました。

また、過去2回はやまなみの敷地内で実施していましたが、さすがに100名近い人が集まると手狭を感じていました。そこで、今年は近くの田中病院さんの体育館をお借りし実施することになりました。

田中病院さんの体育館は、新しくきれいで広さも十分にあり、運動会をするにも最適の場所でした。そして、競技をするにも応援をするにも、会場の皆さんと一緒に参加することができました。

そして、過去2回は利用者さんのみが競技に参加し、事業所対抗で実施していましたが、今年は利用者さん、職員、理事さん、総勢78名が参加し、組み分けも事業所対抗ではなく、群馬らしく榛名団、赤城団、妙義団に分かれて得点を競いました。

競技は、借り人競争・スプーンレース・風船運び・パン喰い競争の4競技からなるリレー形式の障害物競走、玉入れ、じゃんけん列車の3競技です。結果は総合得点1045点を獲得した榛名団が優勝しました。おめでとうございます。赤城団、妙義団の選手の皆さんもがんばりました。

競技の後は、歌や踊りのパフォーマンス大会です。日頃の練習の成果をみんなに披露し、大いに盛り上りました。

競技やパフォーマンスをする利用者さん達のいきいきとした顔がとても印象的な運動会になりました。また、来年の運動会が楽しみです。



～ 運動会に参加した利用者さんの声 ～

- ♥ 玉入れとソーラン節が楽しかった。（ハーモニーやまなみ H.Aさん）
- ♦ 障害物競争が楽しかった。（みやま工房 K.Aさん）
- ♥ お弁当が美味しかった。ソーラン節が楽しかった。（ハーモニーやまなみ K.Nさん）
- ♦ 楽しかった。来年も参加したい。（みやま工房 S.Mさん）



麦のゆめはレクリエーションで、道の駅「川場田園プラザ」に行きました！

麦のゆめは8月のレクリエーションでメディアでも度々、紹介される人気の道の駅「川場田園プラザ」に行きました。

当日は、天気にも恵まれ、爽やかな風が吹く中、久しぶりのお出かけレクリエーションを楽しむことができました。

お昼にはラーメンやパスタ、名物の山賊焼きを食べたり、おやつにはソフトクリームやかき氷を食べました。みんなとワイワイしてとても楽しかったです。お土産を買ったりもできました。

帰りは「道の駅こもち」に寄って野菜を見たりしました。また、レクリエーションに行きたいです。

